

要約

早期沖出し用マコンブ種苗を作出し、早期に沖出し養殖を開始することで、通常の沖出し養殖より高収量が可能となります。

研究成果の概要

1. 背景・目的

マコンブの早期沖出し養殖技術を開発することで、近年急速に減少傾向にあるマコンブ養殖の生産量の増大を目指します

2. 内容

- 通常よりも1か月程度早い、11月中旬に沖出しができるマコンブ種苗を作出することができました。
- 11月中旬から沖出しすることで、収穫時期である5月には、通常の沖出し養殖と比較して葉重量で2.3倍の収量となりました。
- 収穫時期での旨み成分においても、天然と比較してグルタミン酸やマンニトールが5倍ほど多い結果となりました。

3. 活用等

八戸鮫浦地先において、養殖種苗として利用されています。

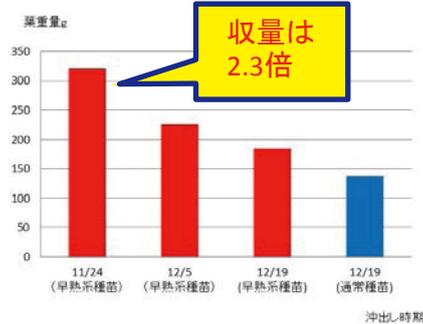


図 沖出し時期別の収量の比較

注) 収穫期(5月)での葉重量の比較



写真 生長したマコンブ(収穫時)

関連情報

- 沖出し時期については、沖出し養殖する海域の水温が15℃を下回る必要がありますので、技術導入の際には注意が必要です。